

第1学年4組 音楽科 がっきとなかよくなるろう

学習活動・予想される児童の反応

本時見られた深く学び続ける子どもの姿

1 トライアングルやウッドブロックの持ち方を確かめる。

ならしかたをくふうして、いちばんすてきなおとをみつけよう。



2 一つの楽器から、すてきな音を見つける。

<ウッドブロック>

<トライアングル>

はじっこを打つ「かつかつ」 細かく打つ「ちりりりん」
まん中辺りを打つ「こっこつ」 響かせて打つ「ちーん」

楽器によって音が違う、同じ楽器でも打つ場所によって音が違う。私はこの音が大好きだな。



3 見つけた音をならして、友達に紹介する。

わたしが見つけたすてきな音は、トライアングルのこの音です。
鳴らしてみます。
わけは、たくさん音が出るからです。



同じ楽器でも、こんなにすてきな音が出るのだな。まねしたいな。

4 学習を振り返る。

- ・すてきな音
- ・工夫したこと
- ・まねしたい音

同じ楽器でも、すてきな音が色々あるのだな。



○ これまでの楽器を使う時の約束や鳴らし方を確認して、トライアングルとウッドブロックの持ち方を示したことで、楽器を鳴らしたいという意欲をもたせることができた。

○ グループ毎にトライアングルとウッドブロックを渡し、いろいろな鳴らし方を試し、見つけることができるようにしたことで、誰もが、楽器に触れ、自分で素敵な音を見つけることができた。

○ トライアングルとウッドブロックの扱い方が分かった後、自分で楽器を選び、意欲的に、素敵な音を見つけることができた。

【参観者の観察記録より】

○ 一人ひとりがどんな素敵な音を見つけたか分かるように、学習者用端末を活用したことで、音を自分の言葉で表したり、誰もがどんな音を見つけたかを知ったりすることができた。

T みんなに自分が見つけた素敵な音を紹介しましょう。

C1 ぼくは、トライアングルをはじくようにしたら、「カーン」という音が出ました。

C2 わたしは、ウッドブロックでリズムカルに鳴らしました。

○ 交流することで、トライアングルとウッドブロックのもつ固有の音色の良さや美しさに気付くことができた。

○ 「ふりかえり」シートを活用し、自分の言葉で書くことで、工夫したことや、思ったことを詳しく書くことができた。

○ 「ふりかえり」シートで、マーク等を使用せず自分の言葉で書かせたことで、「別の世界に行ったようだった」等、子ども独自の感性や、楽しく素敵な音を見つけたことを知ることができた。

● 教室ではなく、広い場所の支援をする。

● 交流で学習者端末を使わず交流した方が、楽器の本物の音色の美しさに気付けたと思う。